

ACCESS

人口 92,720人
世帯数 42,910世帯
面積 18.57km
(令和6年4月1日現在。外国人含む)



芦屋には、阪急、JR、阪神と
3つの電車の路線があります。
芦屋市役所へは、
阪神本線「芦屋駅」からすぐ、
阪急神戸線「芦屋川駅」、
JR神戸線「芦屋駅」からは
徒歩15分程度の距離です。

芦屋のまちをこれからも ASHIYA CITY STAFF RECRUITMENT GUIDE

芦屋市職員採用ガイド



芦屋市長 高島 峻輔

Instagramでも
発信中



芦屋市職員採用ガイド
〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市役所 総務部総務室人事課
TEL 0797-38-2019 FAX 0797-38-2159
※ 令和6年4月現在の内容を掲載しています

芦屋市の
ホームページ
はこちら



 芦屋市

芦屋のまちってどんなところ？



本市は、豊かな自然環境と便利な交通環境を併せ持ち、全国でも数少ない優れた生活環境を有する住宅都市として発展してきました。世界の人々から「一度は訪れてみたい」と言われるようなまちづくりに取り組んでいます。

国際文化住宅都市

全国で唯一の

#1

自然とみどりの中で絆を育み、
「新しい暮らし文化」を
創造・発信するまち



#3

緑に囲まれた芦屋の景観の継承とより魅力ある都市景観をめざし、本市全域を景観地区に指定。芦屋川の景色は市指定文化財「芦屋川の文化的景観」に指定されています。

芦屋市全域を 景観地区に指定

全国初！



#5

平成26年4月、念願であった景観行政団体に移行しました。独自の屋外広告物の規制に向けた取り組みを進めるなど、より一層優れた住環境の形成に取り組んでいます。

景観行政団体



本市は、早くから西洋文化が浸透し、自然の景観が美しい閑静な郊外住宅地として開発され、多くの文化人も集い、阪神間モダニズムの開花など洗練された都市文化が培われてきました。

住んでみたい街 ランキング上位

#2



#4

芦屋の自然や環境を守り、気品のある都市整備に取り組んでいます。芦屋のまちがひとつの大きな庭園となるよう花と緑いっぱいのまちづくりをさらに進めており、平成16年1月1日には「芦屋庭園都市」を宣言しました。

芦屋庭園都市 宣言



CULTURE

文学

芦屋のまちで、
文学を通したタイムトリップに出掛けてみよう

古くから文学にゆかりのあるまち、芦屋。その名は「万葉集」「伊勢物語」の中にも登場するほどです。市内には、「業平」「月若」「公光」など、文学に関係した名前の橋や町名があり、細雪の碑・谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居、高浜虚子三代句碑・虚子記念館など、まちを歩けば、文化の薫りを至る所に感じることができます。



(上段左) 谷崎潤一郎記念館
(上段右) 富田碎花旧居
(下) 芦屋市立美術館



さくらまつり

桜が咲き誇る芦屋川を会場に、多くの人々がにぎわい、露店や特設ステージとさまざまな催しが行われます。夜には桜がライトアップされ、芦屋ならではの美しい景色を楽しめます。



祭り

芦屋のまちを
盛り上げる
春から秋の
風物詩

サマーカーニバル

7月に開催される夏のお祭りです。間近で上がる花火は迫力があり、芦屋浜沖から夏の夜空を鮮やかに染め上げます。キャナルパークでは1艇22人乗りのボートで太鼓のリズムに合わせて一気に漕ぎ豪快な競技「ドラゴンボートレース」が行われます。



秋まつり

秋晴れの澄んだ空に「わっしょい、わっしょい」と威勢のいいかけ声が響きます。一度は途絶えたこのお祭りは、祭りを愛する市民の働きかけで昭和48年に復活。人々が集い、語らい、みこしを担ぎ、まちを盛り上げます。親から子へ、子から孫へいつまでも伝承されることでしょう。





発展させる



都市整備課

職員構成や職場の雰囲気は？

土木職4人、建築職3人、事務職2人、会計年度任用職員1人の計10人の職場です。普段からデスクワーク以外にも、市民の方との話し合いや外部の関係機関との協議や調整に出向くことが多いです(最近はオンライン会議も増えました)。



業務上、情報共有やチームワークが欠かせないため、職員同士のコミュニケーションが活発な職場です。

市民の生活へどのように貢献してる？

都市整備課は、新たな幹線道路や区画整理、再開発など“まちづくり”の中でも都市基盤に係るハード整備を行う部署です。これらの事業を行うには市民の方から土地を譲ってもらう必要もあり、一つの事業でも長い年月と多額の事業費を要することになります。しかし市全体を考えた場合、安全で快適な市民生活を提供し続けるには、定期的なメンテナンスを行う一方で、都市整備課が行う“大規模な事業”も必要で、今だけでなく将来の市民への投資でもあります。

今後のビジョンは？

芦屋市には『芦屋国際文化住宅都市建設法』という芦屋市のみに適用される特別法があり、この法律の理念に従って全国でも屈指の優れた住宅都市として発展してきました。この方向性は将来においても変わることなく、引き続き市民に安全で快適な生活を提供するため、都市機能のバージョンアップを図り、まちづくりに貢献していきます。

まちは、人々の生活スタイルの変化とともに移り変わっていくものですが、道路などの都市基盤施設も、それに合わせてリニューアルが必要になるときが訪れます。現在、JR芦屋駅南地区では、さらに魅力あるまちを目指して、安全で快適な駅前空間を構築するとともに、賑わいを創出するため『再開発』を推進しています。このプロジェクトを遂行している都市整備課をご紹介します。

JR芦屋駅南地区再開発事業って何？

この地区の現状は、市内でも人や車が最も集中する中心部でありながら十分な歩道が整備されていないため、人と車が混在して危険と隣り合わせの状態です。このような交通課題を解決するため、ロータリーやペDESTリアンデッキを整備して、安全で快適な交通結節点を構築します。また、駐輪場の集約化や商業・公益施設・住宅を備えたビルの建設、駅舎のリニューアル(令和5年7月完成)も併せて行うことで都市機能が向上し整然とした駅前空間に生まれ変わります。これにより、住宅都市である芦屋市の魅力を更に高めることになります。



再開発前 平成29年当時

新しい「まち」を創る
やりがいのある
職場です

都市整備課長
灰佐 信祐



守る



防災安全課

職員構成や職場の雰囲気は？

職員構成は、事務職8人、土木職2人、消防職1人・会計年度任用職員2人の計13人です。職種は様々ではありますが、職員間の距離は近く、仕事で困ったときも丁寧にサポートしてもらえる温かい雰囲気です。冗談も飛び交う楽しい職場である一方で、災害対応などの際は緊張感を持って業務を行うなど、メリハリのある職場です。

近年、全国各地で、地震や台風をはじめとした大規模災害の発生により多くの被害が生じています。「災害は忘れたころにやってくる」の心がけを持ち、日々、災害による市民への被害を防止、軽減するために取り組んでいる、防災安全課をご紹介します。

市民の生活へどのように関係してる？

避難所の指定や防災行政無線の設置などハード面の対策により災害発生時の被害軽減につなげています。また、地域で活躍する自主防災組織や防災士を支援する取組により、地域全体の防災力を向上させるお手伝いをしたり、ハザードマップの配布や防災訓練などを行うことで、一人ひとりの防災意識を高めるきっかけづくりを行っています。災害への不安を抱えた市民の方とお話をする機会も多くあります。そういった場で芦屋市の対策や各自が備えておくべきことなどをお伝えした時「相談してよかった」と感謝の言葉をいただくこともあります。このように、直接的にも間接的にも市民の命や財産を守ることで、安全・安心なまちづくりに貢献しています。

どんな業務内容？

防災安全課は、防災訓練やハザードマップの作成、地域防災計画の策定など、業務の幅が広い部署です。災害発生時には、災害対策本部の運営や避難情報の発令、被害情報の収集、国や県等の関係機関への応援要請などを行い、市の災害対応の旗振り役となります。このような業務は市民の命や生活を守ることにつながるため、非常に重要な業務となります。



今後のビジョンは？

今後は、防災情報システムを導入し、従来業務や災害対応の効率化を図ります。また、高潮や急傾斜地の防災対策を兵庫県と連携して着実に進めます。これからも防災対策工事や避難所指定などのハード対策だけでなく、ハザードマップを使った防災教育や官民合同での防災訓練などの防災力を高めるためのソフト対策を組み合わせ、災害に強いまちづくりを目指します。



地域と一緒に
取り組んでいます

防災安全課長
岡本 和也



つなげる



教育部
学校教育室

職員構成や職場の雰囲気は？

学校教育室には、学校教育課、学校支援課、保健安全・特別支援教育課、打出教育文化センター、青少年愛護センターの5課があります。教職経験のある指導主事と芦屋市採用の事務

職で構成し、「芦屋の子どもたちのために!」という共通の目標に向かって、活発な対話ができる職場です。いつも明るく活気があり、助け合って仕事をしています。



幼稚園から小学校・中学校生活を送る中で心も身体も大きく成長する子どもたち。“楽しく学び、安全に学校生活を送るためのサポート”“未来社会を自立的に生きる力を育むための教育・学校のあり方”等を考え、実現に向け取り組む学校教育室についてご紹介します。

今、進めていることは？

現在は、先進的な自治体の取り組みについて情報収集をしたり、有識者から助言を受けたりしながら、「学校の学び」の構造転換に取り組んでいます。例えば、企業と連携して、子ども自らがICTを効果的に活用して学ぶ授業の開発を行っています。また、芦屋の教育について市民と対話するイベントを企画して、保護者や地域の方と共に、芦屋の子どもを見守り育てる取り組みにチャレンジしています。

今後のビジョンは？

これからの時代は、知識・技能もさることながら子どもたちの能動性・主体性を磨く学校教育がより重要になっています。そのためにも、仲間との協働学習や探究学習、STEAM教育、実社会でのPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)などがこれからの学びの中心となってきます。教育委員会では、学校とも連携しながら、こうした新たな授業スタイルだけでなく、学校のDX化などの環境整備にも務め、「教育のまち芦屋」の実現を目指します。

業務内容を教えてください？

学校や幼稚園の組織・編成、教科指導に関すること、自然学校やトライやる・ウィークなどの行事に関すること、教育関係職員の研修に関することなど幅広い業務を行っています。ICT機器の整備や学校給食に関する事務も行っています。

現在は「ちよどの学び(公正な個別最適な学び)」の実現を目指して「Ashiya PEACEプロジェクト」に取り組んでいます。

子どもたちは一人ひとり、興味・関心、能力、理解度が異なります。みんなが安心して学び、挑戦し、その能力を発揮することができるよう、まずは学校の「学び方」と「環境」の改革を進めています。



学校の「学び方」と「環境」の改革を進めています



教育部参事(学校教育担当部長)
山本 卓見

INTERVIEW

気になる仕事の内容を聞いてみた!

時代に合った

自治体サービスを考え実行

企画部 市長公室 DX行革推進課(一般事務職採用)

井上 裕士 いのうえ ひろし

(平成24年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 8:00 出勤・メールチェック
- 9:00 打合せ資料作成
- 10:30 業務改善に係る企画書作成
- 12:00 昼休み
- 12:45 ホームページ編集
- 14:00 行財政改革計画の打合せ
- 15:00 庁内・庁外照会対応
- 16:30 退勤

※時差勤務を利用



Q 現在の仕事内容を教えてください

A 行財政改革の担当部署にいます。無駄をなくしながらも市民サービスの質は落とさず、むしろ上げていこうという取組をしています。最近話題なのはDX(デジタルトランスフォーメーション)です。役所の手続きがスマホで出来たら便利ですね。時代に合った自治体サービスとは?ということを考えています。

Q 職場の雰囲気は?

A 場所にとらわれない働き方を実現するため、フリーアドレスや在宅勤務を積極的に取り入れています。たまにスタンディングデスクで打合せをしています。



受験生へメッセージ

業務のデジタル化など、私の入庁時と今の市役所では仕事の仕方や雰囲気が大きく変わっています。部署異動のたびに大なり小なりやりがいを見つけられるはずです。

Q 芦屋市を選んだ理由は?

A コンパクトシティで市内の建築物を把握でき、美しいまちづくりに建築技術者として携われると思いました。

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 建築物が着工する前の図面審査や竣工時の完了検査に関する業務です。建築基準法を主に複数の法律や条例を扱う仕事で、住宅耐震化事業の補助金に関する事務等も行っています。

Q 職場の雰囲気は?

A 相談しやすい環境で素敵な上司に出会えました。初めての上司から「公務員」としての倫理観や、「建築職」としての知識の両方の大切さを教わり、育ててくれました。安心して働ける職場です。

受験生へメッセージ

建築職は民間企業から転職した方も多く、様々な経験者がいるため、皆さんのこれまでの経験も活かして、建築技術者として安全・安心のまちづくりに貢献できます。また、受験の際は市内を散策して芦屋市で働く姿のイメージを膨らませると良いかもしれません。

美しいまちづくりに

技術者として携わる

都市政策部 都市戦略室
建築住宅課

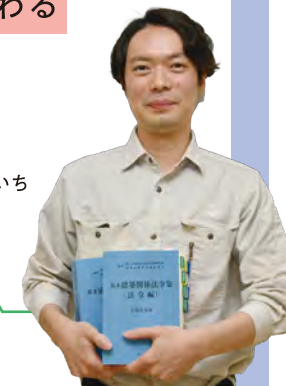
(一般技術職(建築)採用)

岡崎 大地 おかざき だいち

(平成28年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 8:30 出勤
- 9:00 メールチェック
- 10:00 建築物の確認申請に関する協議
- 12:00 昼食
- 13:00 建築物の完了検査
- 16:00 建築基準関係規定や耐震診断等の電話や窓口対応
- 16:30 建築物の確認申請に関する図面審査
- 19:00 退勤



Q 現在の仕事内容を教えてください

A 主な担当業務は、「市のまちづくりの指針となる総合計画の策定・進捗管理に関する業務」「芦屋市の利便性・住みやすさなどの魅力を発信するシティプロモーション」です。他にも議会質問に関することや、市の主要施策の成果をまとめた資料作成など、政策推進課の業務は多岐にわたります。

Q やりがいを感じる時は？

A 他課と一緒に試行錯誤しながら課題を乗り越えたときです。協議・調整に苦労することもあります。様々な部署と関わりを深めることができます。

受験生へメッセージ

市役所の仕事は、市民の生活に密接に携わることができる、やりがいのある仕事です。業務は多岐にわたるため、様々な経験や知識を身に付けることができます。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

部署を越え課題を乗り越え

施策を進める

企画部 市長公室 政策推進課〈一般事務職採用〉

西畑 裕人 にしはた ひろと

(令和2年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 8:45 出勤
- 9:00 庁議※
- 10:00 庁議の議事要旨作成
- 11:00 県照会の回答作成
- 12:00 昼休憩
- 13:00 課内打ち合わせ
- 14:00 委託業務について業者と打ち合わせ
- 15:30 他課に作成をお願いする資料の準備、連絡
- 17:30 退勤

※市長をはじめとする市幹部職員による会議



まちの魅力が伝わる、

共有できる広報活動を

企画部 市長公室 秘書・広報課〈一般事務職採用〉

紀之内 晴菜 きのうち はるな

(平成31年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 9:00 出勤・メールチェック
- 9:15 SNSチェック
- 9:30 事務作業
- 10:00 市内撮影
- 11:00 広報紙特集の打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 広報紙取材・撮影
- 14:00 広報紙作成
- 15:00 SNS投稿作成
- 16:00 退勤

※部分休業を利用



Q 現在の仕事内容を教えてください

A 毎月発行している「広報あしや」の作成(取材・撮影・編集)、SNSでの情報発信(撮影・動画作成)、市ホームページの更新・運用管理などを担当しています。

Q やりがいを感じる時は？

A 「広報あしや」を作成して、その広報紙が全戸配布され様々な人の手に渡るときです。前回よりもっと伝わる広報紙を市民の方に届きたいという気持ちが強くなります。

受験生へメッセージ

民間企業出身ですが、公務員という仕事に良いギャップを感じています。自分のやりたことを表現できるのでクリエイティブに働くことができています。



繋がりを大切に

市民の暮らしに寄り添う

こども福祉部 福祉室 地域福祉課〈保健職採用〉

岡本 ちさと おかもと ちさと

(平成25年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 9:00 出勤・メールチェック
- 9:30 関係機関(地域包括支援センター等)への電話連絡
- 10:00 新規事業に関する打合せ
- 12:00 昼食
- 12:45 資料・記録作成等事務作業
- 13:30 支援中の市民宅へ訪問
- 15:30 課内で相談
- 16:00 退勤

※育児時短勤務利用



Q 芦屋市を選んだ理由は？

A 芦屋市で育ち、保健センターでのトライやるウィーク体験をきっかけに、市民の健康を支える保健師を目指しました。

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 法律や制度だけでは救えない困りごとを抱えている人の支援を実施しています。また、誰もが心地よく暮らせるように、さまざまな専門機関や企業・団体等との連携に努めています。

Q やりがいを感じる時は？

A 専門機関や地域の多種多様な企業・団体と連携して、それぞれの資源を活かした支援を行い、市民の方のお困りごとが改善された時です。

受験生へメッセージ

顔の見える関係性を作りやすい規模で、部署間や関係機関、市民の方との連携が取りやすい環境です。ぜひ一緒に働きましょう！

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 今年度は、4歳児クラスで要配慮児の加配として子どもの育ちを支えています。クラスの担任の1人として、要配慮児以外の子どもとも関わります。

Q これまでの業務で印象に残った出来事がありますか？

A 昨年度担任をしていた5歳児クラスで、ペットボトルキャップを回収して世界の子どもたちのワクチンに変える取り組みをしました。地域の方にくさんご協力をいただき、芦屋の街の温かさを感じました。

Q 芦屋市で働いてみて驚いたことは？

A 小さな街だからこそ顔見知りの職員が多く、異動の多い職場でもすぐに馴染み円滑に一年を送れると感じます。和気あいあいとした職場で、とても働きやすいです。

受験生へメッセージ

高い志をもって保育をしている職員の姿に、日々刺激を受けています。何年経っても学ばせてもらえる環境で、働きやすくスキルアップできる職場だと感じています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

コンパクトなまちだから

異動先にもすぐなじめる

精道こども園〈保育職採用〉

中原 安伊菜 なかはら あいな

(平成30年4月入庁)

1 DAY SCHEDULE

- 8:45 出勤
- 9:05 朝の体操
- 9:30 朝の会(ふれあい遊び、季節の歌を歌う)
- 9:45 設定保育
- 10:00 室内自由遊び
- 10:30 室内自由遊び
- 11:20 着替え
- 11:45 給食
- 12:45 午睡
- 13:30 保育環境整備
- 15:00 おやつ
- 15:30 自由遊び
- 16:00 事務仕事(事業日誌など)、保育準備
- 17:15 退勤





1 DAY SCHEDULE

- 8:45 出勤
- 8:50 メールチェック
- 9:00 前日業務の点検作業
- 10:00 オンライン申請等の確認
- 11:00 住民異動届入力データの点検
- 12:00 昼食対応
- 12:45 昼食
- 13:30 住民異動届の審査
- 15:00 証明書発行の点検
- 17:30 退社



最も多い来所者に
迅速、正確そして最適な対応を

市民生活部 市民室 市民課〈一般事務職採用〉

松尾 さくら まつお さくら

(平成31年4月入庁)

Q 芦屋市を選んだ理由は？

A 市役所を訪れた際、職員の方に優しく対応していただいたことや、庁内の雰囲気が芦屋市の街のようにきれいで、落ち着いていたことから、ここで働けたらいいなと思ったことが一番の理由です。

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 住民票等の各種証明発行、引越しをした際の住民異動の手続きを主に担当しています。
市民課の業務といえば窓口での受付業務が印象的かもしれませんが、受付後の内部事務や窓口担当者をサポートする運用や仕組みに関する業務など、住民情報に関する様々な業務を行っています。

Q これまでの業務で印象に残った出来事がありますか？

A 市民の方から厳しいお声をいただいたケースは、強く印象に残っています。うまく対応できなかった部分については、どうすればよかったのか、今でも何度も反復しています。そういった時に、上司や先輩が気にかけてくれ、サポートしてくれたことは、とてもありがたい、記憶に残っています。

Q やりがいを感じる時は？

A 周囲の方と協力しながら、滞りなく事務を進められた際にやりがいを感じます。市民課の業務は迅速かつ正確でありながら、市民の方の事情に応じて最適な対応を求められる難しさがあります。業務の先には、市民の方の時間や生活があり、重要な仕事に携わらせていただいていると感じています。今後もより円滑に窓口業務を進められるよう頑張っていきたいです。

Q 職場の雰囲気は？

A 市民の方が一番多く訪れる場所であり、職員の数も多いため、活気のある職場です。何かあればお互いにすぐに声を掛け合い、ちょっとしたことも相談する関係性が築かれています。

受験生へメッセージ

入庁した当時は不安なこともたくさんありましたが、上司や先輩は優しく丁寧に指導してくださり、今では楽しく働くことができます。業務においてはもちろん、人として勉強させていただくことがたくさんあり、とても恵まれた環境だと感じています。ぜひ芦屋市で、一緒に働きたいとおもっていただけたらうれしいです。



1 DAY SCHEDULE

- 8:50 出勤
- 9:00 メールチェック
- 10:00 施工現場確認
- 12:00 昼食
- 13:00 決裁処理
- 14:00 庁内打ち合わせ(業務進捗確認)
- 15:30 県照会の回答作成
- 17:30 退社

なくてはならない
ライフラインを支える

上下水道部 下水道課

〈一般技術職(土木)採用〉

松浦 宏樹 まつうら ひろき

(平成27年4月入庁)



Q これまでの業務で印象に残った出来事がありますか？

A 下水道は“捨てる”施設であるため実感されにくいですが、生きていくうえで、なくてはならない大切なライフラインのひとつです。工事完了した後や、下水道PR事業を行った際に、市民の方々から「いつもありがとう」と感謝された時です。

Q やりがいを感じる時は？

A 老朽化した下水道管を工事によって蘇らせ、市民の皆さんに引き続き安全・安心に下水道施設を使ってもらえる時です。また、生活する上で、なくてはならないライフラインの一つであり、それに携われていることはやりがいの一つです。

Q 職場の雰囲気は？

A 先輩・後輩と仲が良く、風通しの良い職場です。私が働いている技術系職場は、部署が違っていても職員同士の仲が良いため、仕事もやりやすいです。また、困ったときは、みんなが助け合って問題解決をしていく職場でもあります。

Q 休日や退勤後の過ごし方は？

A 休日は毎週、家族とおでかけに行く時間になっています。平日の退勤後は、基本的には真っすぐ家に帰りますが、たまに同僚たちと飲みに行ったり、一緒に運動をして体を動かしたりしています。

Q 芦屋市を選んだ理由は？

A 入庁前に民間企業で働いていたときに、仕事で芦屋市を訪れる機会がありました。きれいな街並みや雰囲気がとても良く、何よりも街の時間の流れがゆっくりしていることに衝撃を受け、この街づくりに携わる仕事がしてみたいと思い選びました。

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 下水道工事の設計、施工監督及びその他の事務手続に関することが仕事です。主に、老朽化の進んだ下水道管の改築および更生工事を行っています。

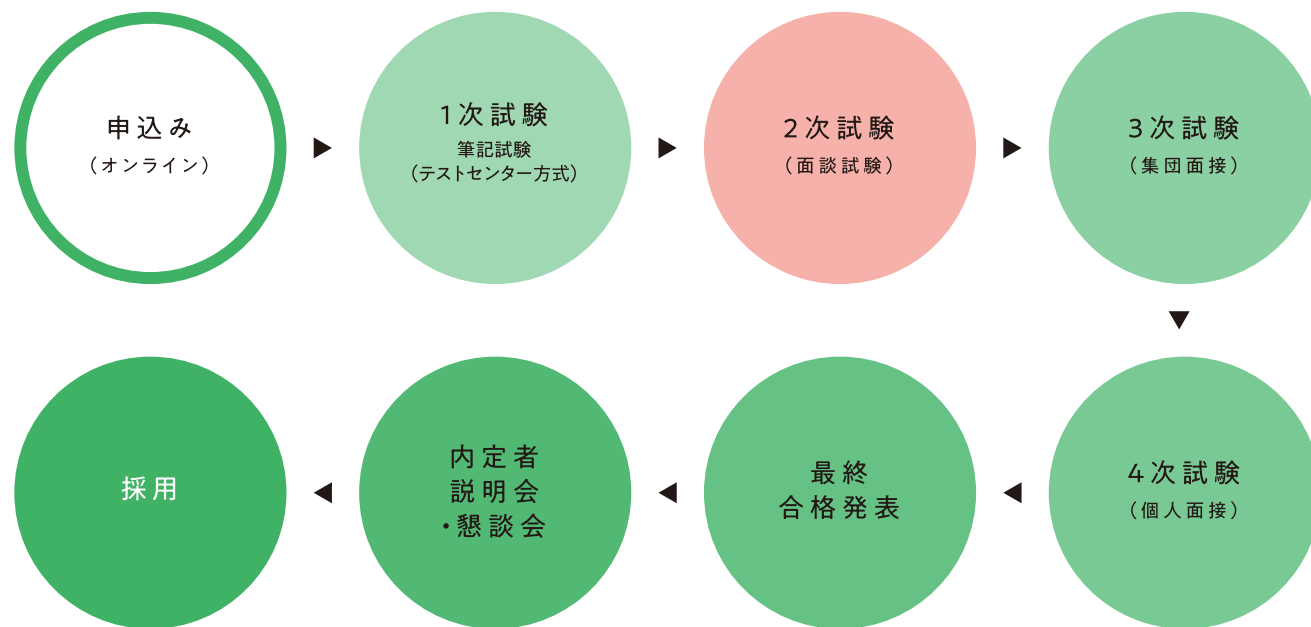
受験生へメッセージ

私は過去に2回転職を経験しており、ここが3つ目の職場となりますが、他と比べて街も庁舎もきれいでとても快適に仕事に取り組める環境であると感じています。また、規模の小さな自治体であるため、顔なじみの職員も多く、困った時はすぐに相談しやすい職場です。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

芦屋市は 人物重視 の採用です！

市では令和4年度から、皆さんの人柄をより理解するため、面談試験を取り入れます。
筆記試験だけでは分からない個々の考え方や魅力を、カジュアルな面談を通して教えてください。

✓ 試験内容 ※試験内容は変更となる場合があります



▶ 面談試験 とは？
受験生の皆さんの人物的側面を確認するため、新たに面談試験を導入します。一般的な面接試験と比較して、①試験官の年齢が若く、②受験者と試験官の距離が近い対話形式の面接で、リラックスした雰囲気の下、自身を飾らずアピールしてもらうことをねらいとして実施します。芦屋市で働きたい意欲やコミュニケーション能力等、受験生の皆さんの良いところをアピールしていただく「人物重視」の試験となっています。

▶ 芦屋市採用試験の3つのポイント

POINT. 1 公務員試験対策不要

芦屋市ではSCOA-A方式を採用しています。憲法や行政法、経済学など何十科目も学ぶ必要のある公務員試験は行っておりません。特別な公務員試験対策の必要がありませんので、その分、今しかできない経験をして、皆さんの魅力を高めてください。
※一般技術職(土木・建築)についても専門試験はありません

POINT. 2 人物重視

複数回の面談と面接を行い、エントリーシートだけでは分からない受験生の個性を感じ取り、芦屋市でどのように活躍できるかを丁寧に見極めます。

POINT. 3 リセット方式採用

人物重視の採用試験とするため、各試験ごとに合否判定を行う「リセット方式」を採用しています。各試験の点数は、合格決定後にリセットされます。最終合格者は4次試験の結果に基づいて決定します。

✓ 勤務条件

初任給	一般事務職・技術職 232,760円(地域手当含む。R6.4現在)※大学新卒の場合
期末・勤勉手当	年2回支給(6月、12月)
諸手当	住居手当、通勤手当、扶養手当、時間外勤務手当 など
勤務時間	9:00～17:30 時差勤務、在宅勤務あり
休日	土・日曜日、祝日、年末年始
休暇	年次休暇、夏季休暇、慶弔関係の休暇、育児関係の休暇、介護休暇 など

✓ 研修

階層別研修	危機管理研修 ハラスメント防止研修 メンタルヘルス研修(ラインケア研修等) キャリアデザイン研修 働き方改革研修 業務改善ゼミ研修 他	オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(令和元年度～3年度派遣) 神戸市派遣(令和4年度) 他 2025年日本国際博覧会協会(大阪・関西万博)(令和5年度～7年度) 他
専門研修	派遣研修 総務省派遣・兵庫県派遣 自治大学校・国土交通大学校 海外派遣研修(JIAM) 政策研究大学院大学(平成30年度派遣)	自己啓発 資格取得助成 自主研究グループへの助成 他

わたしたち、子育て制度利用しました

育児休業制度 を利用

小西 孝宏(こども福祉部 福祉室 障がい福祉課) 育児期間:2カ月

初めての出産を迎える妻の不安と負担の軽減、そして産まれてきた我が子との貴重な時間を大切にしたいと思い、育児休業を取得させていただきました。

育児は想像以上に大変でしたが、家事と育児の両立の難しさを体感し、とても良い経験になりました。生まれたばかりの赤ちゃんとは24時間過ごすことは人生で何度もできる経験ではありません。人としても一回りも二回りも成長できる機会だと思うので、ぜひ皆さんにも育児取得を検討してみてくださいと思います！



部分休業(時短勤務)制度 を利用

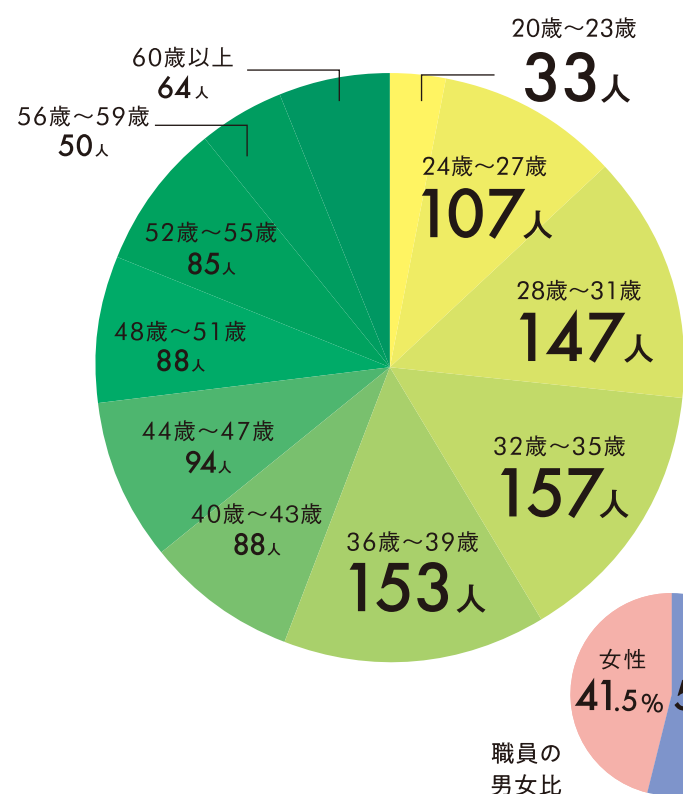
紀之内 晴菜(企画部 市長公室 秘書・広報課)

子ども3人の育児と仕事の両立のために、部分休業制度の利用は不可欠でした。この制度のお陰で仕事と育児の両方を楽しみながらできています。

また、子どもの体調不良で急な休みをいただく場面も多々あります。ですが、周りの方々の理解やサポートのお陰で過ごすことができています。

部分休業制度が使える、子育て世代に温かい職場の雰囲気も芦屋市で働く魅力だと実感しています。





職員年齢構成

平均年齢

39.3 歳

20～30代の若い世代が多く活躍しています。



紹介します

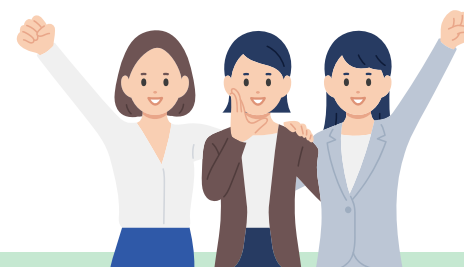
わたしたちの職場

芦屋市では、柔軟な働き方を可能にする制度が充実しているだけでなく、仕事をサポートする体制も整っています。

女性管理職の割合 (兵庫県下1位)

35.5%

芦屋市では、性別に関わらずキャリア形成することができます。

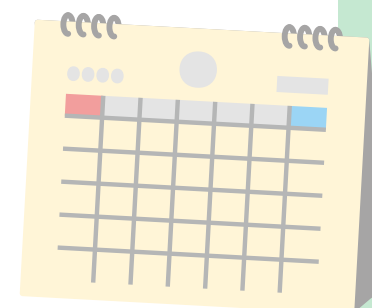


年次有給休暇

取得日数の平均

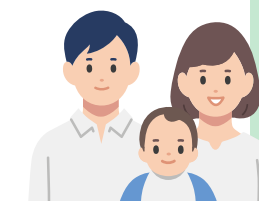
13.8 日

職場内での業務の調整など、皆が取得できるような環境づくりをしています。



育児休業 取得率

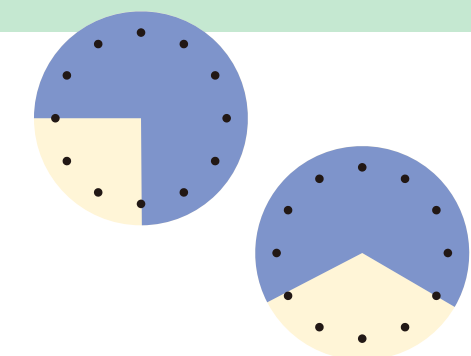
100%



47.1%

女性 男性

市として育休取得を推奨しており、男性職員の取得も増えています。



時差勤務・ 在宅勤務の実施

ライフスタイルに合わせた働き方として、時差勤務、在宅勤務を取得できます。

※部署によっては取得できない場合があります。

OJT制度、 メンター制度の導入

若手職員が安心して業務ができるように、職場の上司や職場外の先輩職員がサポートします。



ノーネクタイ・ ノージャケットの 通年実施

働きやすい服装による勤務を通年で実施しています。

超過勤務の 状況

12.53 時間

残業を減らすための業務効率化を進めており、超過勤務時間は少なくなっています。

